

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和05年06月05日

計画の名称	姫路市における循環のみち実現（３）（重点計画）													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度（５年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	姫路市													
計画の目標	農業集落排水施設及びコミュニティ・プラント施設を公共下水道へ統合することにより汚水処理事業全体の効率化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		3,680	A	3,680	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R 2当初	R 4末	R 6末
1	計画期間内に6処理施設を統合し、統合整備率を34.4%から53.1%に増加させる。			
	統合整備率	344（×0.1）%	438（×0.1）%	531（×0.1）%
	統合済み処理施設数（R2：11箇所→R6：17箇所）／統合する全処理施設数（32箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 汚水）	新設	処理場統廃合事業（中部 処理区他）	接続管等新設 φ200～600（ 集排・コミプラ）	姫路市	■	■	■	■	■	3,680		-	
												小計						3,680		
											合計							3,680		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	300	225	305	339	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	300	225	305	339	
前年度からの繰越額 (d)	0	223	223	186	
支払済額 (e)	77	225	342	247	
翌年度繰越額 (f)	223	223	186	278	
うち未契約繰越額(g)	20	78	43	122	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6.66	17.41	8.14	23.23	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		関係機関との調整に時間を要したため。		関係機関との調整に時間を要したため。	

事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における循環のみち実現（３）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 １）上位計画（流総計画、都市計画、公害防止計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 ２）下水道の諸計画（流域下水道事業計画、公共下水道事業計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 ３）関連する諸計画（総合計画、生活排水処理計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 １）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 ２）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 １）指標と数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 １）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 ２）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 ２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業施行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業施行の環境 ２）関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 １）事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 ２）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

